

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 8 月 31 日(水曜日)～平成 23 年 9 月 6 日(火曜日))

平成 23 年 9 月 7 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

● 山崎直子宇宙飛行士引退

8 月 31 日(水曜日)、JAXA の山崎直子宇宙飛行士が記者会見し、宇宙飛行士引退を正式に表明した。今後は母校の東京大学研究生として、フリーの立場で宇宙飛行士の経験を生かした活動を続けていく考えを示した。

山崎さんは 1996 年東大院修了、宇宙開発事業団(現 JAXA)に入り、99 年、古川聡さんらとともに飛行士候補に選ばれた。日本人の女性飛行士は向井千秋さん以来 2 人目で、10 年には米スペースシャトルに搭乗し、国際宇宙ステーションへの物資補給を担った。

● 「あかつき」の軌道上噴射テスト

9 月 5 日(月曜日)、JAXA は金星探査機「あかつき」軌道制御エンジン(OME)の軌道上噴射テストにかかる記者説明会を行った。「あかつき」の金星再会合に向けた軌道変更計画の検討の一環として、軌道制御エンジン(OME)の軌道上噴射テストを 9 月 7 日(水曜日)及び 9 月 14 日(水曜日)に実施し、軌道制御エンジン(OME)の状態把握を行う予定。

● 宇宙医学実験支援システムの実証実験の公開

9 月 6 日(火曜日)、国際宇宙ステーション(ISS)に長期滞在中の古川聡宇宙飛行士は、飛行士が自らの健康状態を確認することができる宇宙医学実験支援システムの実証実験の一環として、古川宇宙飛行士自身の 5 種類の医学データについて、茨城県つくば市の JAXA 筑波宇宙センターの医師と議論した。

宇宙開発に関する海外の動向

● プロトンロケットによる通信衛星の軌道投入失敗原因を特定【露】

8 月 30 日(火曜日)(現地時間)、ロシア連邦宇宙局(FSA)は、8 月 17 日(水曜日)(世界標準時)のプロトン M/プリーズ M ロケットによるロシア衛星通信会社(RSCC)の静止通信衛星「エクスプレス AM 4(Express-AM 4)」の軌道投入失敗に関して、事故調査委員会が調査を終了し、事故原因をプリーズ M 上段の制御システムのプログラム誤作動と特定したと発表した。同結果に基づき、プロトン M ロケット及びプリーズ M 上段を使用した打上げ禁止が解除され、FSA のポポフキン長官は、2011 年の残り 4 ヶ月間以内のプロトンロケットによる打上げスケジュールの更新を指示した。

● 3 人の宇宙飛行士の地球への帰還を 1 週間延期 【米】

9 月 1 日(木曜日)(現地時間)、米国航空宇宙局(NASA)は、米国人宇宙飛行士 Ronald Garan 氏とロシア人宇宙飛行士 Andrei Borisienko 氏及び Alexander Samokutyayev 氏の ISS からの帰還を、予定していた 9 月 8 日(世界標準時、以下同じ)から 1 週間延期して 16 日に行うことを発表した。